

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 4 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひいたします。

記

1 情報の内容 果樹カメムシ類の集合フェロモントラップにおける平年値を超える誘殺数の確認

2 対象作物 うめ、もも、びわ、キウイフルーツ、なし、すもも、かんきつ、かき等

3 現状と今後の対策

ア) 本年度はチャバネアオカメムシの越冬密度が 2.63 頭/2m<sup>2</sup> と最近 10 年間では最も高くなっている。県下 5 地点の集合フェロモントラップにおける誘殺数は 5 月以降増加し、調査地点でのばらつきはあるが第 2～6 半旬からは平年値の 2 倍を超えている（下図）。

イ) 四国地方の 6 月 7 日から 7 月 6 日の平均気温は平年並とされている（平成 26 年 6 月 5 日高松地方気象台発表）。このことから、今後も越冬成虫の活動は衰えることはなく、園地へ飛来する危険性は継続するものとみられる。

ウ) 防除上の注意は、平成 26 年 3 月 17 日付け平成 25 年度病害虫発生予察注意報第 2 号、平成 26 年 5 月 27 日付け病害虫発生予察情報（6 月）を参照。

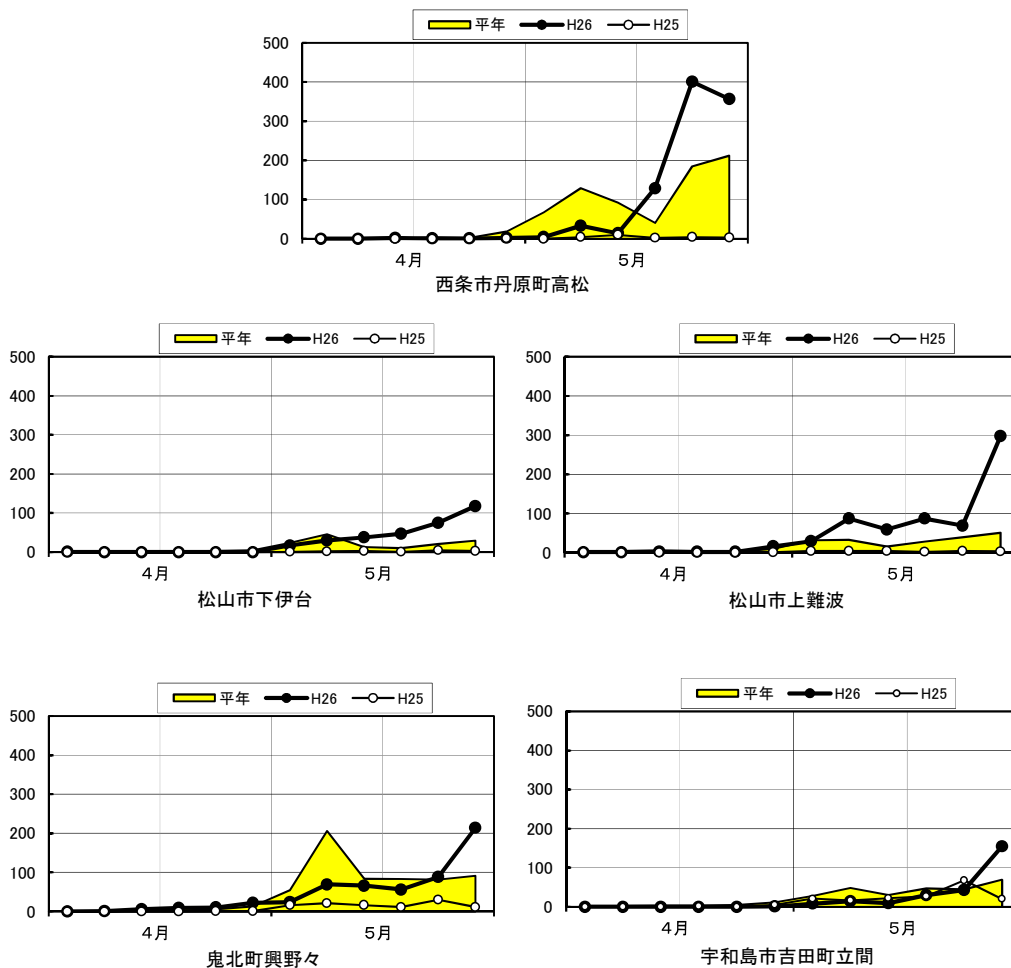


図 各地の集合フェロモントラップにおける果樹カメムシ類の半旬当たりの誘殺数  
調査対象種: チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ。  
調査期間: 4 月第 1 半旬～5 月第 6 半旬。